持ち帰り可

令和8年度 国際文化学部 文化創造学科 総合型選抜 二次選抜

「個人プレゼンテーション」課題

〈問い〉

近年国内外で、カプセルトイが注目されています。そのような流行を受けて、あなたの暮らす地域では、カプセルトイを活用した外国人観光客向けのイベントを考え、地域文化の魅力を発信していくことになりました。そのイベントのプランについて、提案してください。カプセルトイの内容や活用の仕方については、適宜、設定して構いません。

資料1、資料2を参考に、5分程度のプレゼンテーションをしてもらいます。そのために、400文字以内の文章によりプレゼンテーションの要旨を解答用紙に記入し、プレゼンテーションに用いる資料として画紙3枚を作成してください。

留意事項

・画紙の作成には、用意された文具のみを使用してください。
・試験終了後、以下の用紙を回収します。
　画紙3枚、解答用紙、下書き用紙、画紙用下書き用紙
・以下の用紙は、持ち帰ってください。
　「個人プレゼンテーション」課題、資料1、資料2
・プレゼンテーションは、画紙のみを用いて行います。回収した画紙は、プレゼンテーションの際に、またお渡しします。

令和８年度 国際文化学部 文化創造学科 総合型選抜 二次選抜
「個人プレゼンテーション」 出題意図

【資料１の出典】
「回してワクワク 世界が夢中 カプセルトイ「上陸」60年」
2025年5月22日 『朝日新聞』東京本社 夕刊 p.1による。

【資料２の出典】
国土交通省観光庁による「インバウンド消費動向調査（旧訪日外国人消費動向調査）」の公開データ（https://www.mlit.go.jp/kankocho/content/001879064.xls、参考11 国籍・地域（21区分）別 訪日旅行に関する意識（満足度など）【観光・レジャー目的】）をもとに作図した。作図にあたって、項目を一部省略している。

【出題意図】
資料１、資料２の内容を踏まえ、地域文化を発信するメディアとしてのカプセルトイの可能性について、自らの考えを「個人プレゼンテーション」要旨にまとめさせる。そして、ことばや絵・デザインなどの情報を用いた画紙３枚を使用して、適切な表現でプレゼンテーションしていく能力をはかる。
個人プレゼンテーションを通して、日本文化や地域文化の価値を評価し、また、異なる文化や多様な考えを持つ人々と交流し、地域文化の活性化に貢献していくための、知識・理解、思考力、判断力、表現力、主体性を評価する。
（236字）